

介護あんしん 相談員だより

第50号 令和6年3月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きして、客観的な目で見て気づいた点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。現在18名の相談員が活動しています。

※現在は、受入可能な施設のみの訪問をさせていただいております。



利用者さまや介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(令和5年12月・令和6年1月)



～介護あんしん相談員の声より～



相談員：いつもと違う曜日の訪問で入浴の時間と重なり、利用者さまとの交流が少なくなりました。曜日によって施設の様子が違うことが理解できました。

施設：午前や午後の様子でも全く変わったりするので、どの曜日やどの時間でも見ていただけたらと思います。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



いつも火曜日の訪問だったのですが、今月は都合がつかず水曜日に訪問をされました。いつもの曜日と、施設や利用者さまの様子が違い、時には違う曜日での訪問は良かったと思われたそうです。

施設では、曜日によって入浴される方が違い、ユニット内での時間の流れが変わるそうです。また、「午前や午後の様子でも全く変わったりするので、どの曜日でもどの時間でも見ていただけたらと思います。」という、嬉しいコメントをいただきました。

これからも介護あんしん相談員が、利用者さまやそのご家族のご意見やご要望を、事業所や行政への橋渡し役となり、サービスの質の向上と適正化と一緒に目指していきたいと考えています。

相談員：利用者さまのトイレ誘導時に、プライバシーに配慮の無い言葉や声かけ、不必要に高い物音や、ドアを開けたままになっていたのが気になりました。

施設：認知症の方は音に敏感なため、ドアの開閉には十分に注意しプライバシーには配慮します。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



今までの訪問の時には感じなかったのですが、相談員が気になった点を施設にお話しされたそうです。

施設ではトイレのドアは閉めるようにされていますが、車椅子対応の場合や、中の様子を確認しないと危ない方もおられるので、少し開けている場合もあるそうです。

また、排泄を促す際の声かけ等については、利用者さまのプライドなども考え、十分配慮し施設内で注意喚起をしていただけたようでした。

こちらの施設の利用者さまは、「ここにおったら安心。」「故郷には帰りたくない。誰もいないから。この場所が一番いい。」と利用者さま同士の関係性も良く、施設スタッフの行き届いたケアも感じられます。

ほんの少しの配慮をすることで、お互いの気持ちを尊重していけたらと感じました。



～利用者さまの声より～



利用者：汁物は、温かい物が飲みたいです。

施設：汁物はすぐに改善できますので、施設内で周知します。

利用者：ご飯は美味しいけど、おかずの味が薄いです。

施設：糖尿病で食事療養中の方です。味は自宅での味付けよりは薄いと思います。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



利用者さまからの相談で、施設の食事に関することはよくあります。

施設では、病院に入院した時と同じように、食事は楽しみのひとつになりそうですね。

しかし、利用者さまによっては、ご希望に添える内容やどうしても対応できないことがあります。高齢の利用者さまは様々な生活習慣病等で、食事が治療になっている場合も多く、一般食や減塩食、糖尿病・腎臓病食など様々だと思います。

こちらの利用者さまは、「ご家族も食事の件はご理解いただいております。カロリーの少ないおやつを持参してもらっています。食事での治療も必要であることを丁寧に説明していきます。」とのことでした。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。